

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 4 月 18 日(2024.4.18)

【公開番号】特開 2023-153265(P2023-153265A)
【公開日】令和 5 年 10 月 17 日(2023.10.17)
【年通号数】公開公報(特許)2023-195
【出願番号】特願 2023-134019(P2023-134019)
【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 315 A

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 4 月 10 日(2024.4.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に設けられた始動入球手段と、
前記始動入球手段への入球に基づいて特別情報を取得する情報取得手段と、
前記情報取得手段により取得された特別情報を記憶可能な取得情報記憶手段と、
前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が所定の移行情報と対応しているか否
かを判定する移行判定手段と、

前記移行判定手段による判定の結果が前記所定の移行情報に対応しているとする移行対
応結果となったことに基づいて、遊技状態を所定遊技状態よりも遊技者に有利な特別遊技
状態に移行させる遊技状態移行手段と、

30

遊技球が入球可能又は入球し易い第 1 状態及び入球が不可又は入球しにくい第 2 状態に
切替可能な可変入球手段と、

前記特別遊技状態において、所定の切替条件が成立した場合に前記可変入球手段を所定
態様にて前記第 2 状態から前記第 1 状態に切り替え可能として前記特別遊技状態の所定の
遊技を開始させる手段と、

前記特別遊技状態において、前記可変入球手段への入球数が所定数となったこと又は所定
期間が経過したことの少なくともいずれか一方で前記可変入球手段を前記第 1 状態から前
記第 2 状態に切り替え可能とする手段と、

前記可変入球手段を前記第 2 状態へ切り替える場合に前記所定の遊技を終了させることが
可能な手段と、

40

前記取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記移行判定手段による判定
対象となった場合における判定結果に対応する情報を、当該所定の特別情報が前記判定の
対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先特定手段と、

前記先特定手段による特定の結果に対応する特定報知を実行可能な手段と、

前記特別遊技状態にて実行される前記所定の遊技において前記可変入球手段へ前記所定数
より多い入球が発生した場合に所定報知を実行可能な手段と、

前記所定の遊技における前記可変入球手段への入球数が前記所定数より多い特定数となっ
た場合に、当該特定数の入球が生じた際の前記所定報知の実行後、前記特定報知が実行さ
れるようにすることが可能な手段と、

50

を備えていることを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明は、

遊技領域に設けられた始動入球手段と、

前記始動入球手段への入球に基づいて特別情報を取得する情報取得手段と、

10

前記情報取得手段により取得された特別情報を記憶可能な取得情報記憶手段と、

前記取得情報記憶手段に記憶されている特別情報が所定の移行情報と対応しているか否かを判定する移行判定手段と、

前記移行判定手段による判定の結果が前記所定の移行情報に対応しているとする移行対応結果となったことに基づいて、遊技状態を所定遊技状態よりも遊技者に有利な特別遊技状態に移行させる遊技状態移行手段と、

遊技球が入球可能又は入球し易い第１状態及び入球が不可又は入球しにくい第２状態に切替可能な可変入球手段と、

前記特別遊技状態において、所定の切替条件が成立した場合に前記可変入球手段を所定態様にて前記第２状態から前記第１状態に切り替え可能として前記特別遊技状態の所定の遊技を開始させる手段と、

20

前記特別遊技状態において、前記可変入球手段への入球数が所定数となったこと又は所定期間が経過したことの少なくともいずれか一方で前記可変入球手段を前記第１状態から前記第２状態に切り替え可能とする手段と、

前記可変入球手段を前記第２状態へ切り替える場合に前記所定の遊技を終了させることが可能な手段と、

前記取得情報記憶手段に記憶されている所定の特別情報が前記移行判定手段による判定対象となった場合における判定結果に対応する情報を、当該所定の特別情報が前記判定の対象となるよりも前のタイミングにおいて特定する先特定手段と、

前記先特定手段による特定の結果に対応する特定報知を実行可能な手段と、

30

前記特別遊技状態にて実行される前記所定の遊技において前記可変入球手段へ前記所定数より多い入球が発生した場合に所定報知を実行可能な手段と、

前記所定の遊技における前記可変入球手段への入球数が前記所定数より多い特定数となった場合に、当該特定数の入球が生じた際の前記所定報知の実行後、前記特定報知が実行されるようにすることが可能な手段と、

を備えていることを特徴とする。

40

50